



発行所

岐阜農林高等学校同窓会

TEL <058> 324-1145

http://www.ginou-douso.org/

同窓必読の
親しい便り。

農林の指針

一人でも多く
見ましよう。

(希望者は事務局まで)

購読料 年3回発行(郵税共)
年1,000円

印刷所

岐阜文芸社

がんばろう日本！ 頑張るぞ岐阜農！



岐阜県立岐阜農林高等学校

校長 高畑 清樹

昨年十月には創立百十周年記念式典を盛大に挙行し岐阜農林の心意気を示すことができましたこと、厚くお礼申し上げます。

本校は、県内有数の歴史と伝統を誇る専門高校の雄として存在感を示すとともに、全国の農業高校をけん引する実績と成果を上げております。

全国で農業関係学科を設置する高等学校は三三五校で、学ぶ生徒は約九万二千名を数えます。この数字は、十年前と比べて学校数で二四校、生徒数で二万四千名減少しています。少子化の影響をまともに受け、学校統合や新タイプの学校への改編などの対象になっていることを物語っています。

このような状況の中にあつて、本校は農業クラブ・部活動等の活躍、卒業後の進路状況など多方面において成果を上げ、全国からも注目されております。昨年五月に全国農業高等学校長協会研究協議会で本校並びに本県農業教育の取組を発表する機会を得ました。そ

の反響もあり、本校には全国から多くの視察者が訪れました。北は北海道・旭川農業高校や青森・三本木農業高校、南は鹿児島・鹿屋農業高校まで十一都道府県十二校に及びました。各校とも岐阜農林高校のノウハウを持ち帰って自校の課題解決と発展に生かしたいというものであり、特に、進学指導に強い関心を持っておりました。目標にされることに慢心することなく、さらなる高みを目指していきたいと思ひます。

最近の生徒の活躍としては、演劇部が中部日本大会(十二月、富山市)で中日賞を受賞し春季全国高等学校演劇研究大会(三月、北海道)に中部日本代表として出場したこと、男子バスケットボール部が東海新人大会(二月、浜松市)に出場したことが挙げられます。全国、東海の舞台に出て感じることは、本校以外には農業関係高校は出ていないということ。部活動においても全国の農業高校を代表して奮闘している岐阜農生の姿

があります。

本校は、高校卒業後の進路として就職にも進学にも対応できる専門高校でありたいと思っています。高校で専門教育を受けて大学等でさらに深く学びたいという志は自然な流れです。高学歴化が進む中、大学等への進学の道も拓いていかなければなりません。現在、岐阜大学応用生物科学部等との農林業教育システム、東海学院大学、中部学院大学、長浜バイオ大学、名古屋産業大学の計五大学と高大連携協定を締結しています。

本校からは毎年十数名が国立大学に進学しております。今春の岐阜大学の入学式では、本校卒業生が全学の新生代表として宣誓を行いました。本校出身者の生命線は目的意識の高さにあり、卒業生の今後の活躍が楽しみです。

また、揖斐郡池田町や山県市等と連携し、特産物の活用と商品開発にも取り組んでいます。高校段階からいろいろな仕掛けを行い、座学と実習、理論と実践により、生徒を将来の地域社会を支える有為な人材に育てていく所存です。

我が国は東日本大震災で壊滅的被害を被り、国家的危機に直面しております。高校生等の若者にはこの体験をバネに不撓不屈の精神を持った心豊かで逞しい人間に育ってもらわなければなりません。昨

明日をかたちづくる

丸栄コンクリート工業株式会社

本社 千五〇一・一六二・九三
岐阜県羽島市福寿町間島一五一
TEL 〇五八・三九二・七〇〇

森林総合プランナー
森林整備・木材生産・造園土木

株式会社 遠藤造林

代表取締役 遠藤 一美
専務取締役 遠藤 二己
造園部長 遠藤 雅樹
(昭四四林卒 平三林卒)

本社 〒502-0812
岐阜市八代3-26-10
TEL (058)-231-5112
FAX (058)-231-4429

支社 洞戸・養老・山県・芥見・金山

クリーンな未来を。

今日は、昨日の未来。
そして、今日の一番近い未来は、明日。
新しい世紀が訪れても、昨日、今日、明日、
その一日一日の積み重ねが、
未来を創っていくことになりあつた。
環境を進化させるコンクリートは
“地球の創造素材”である。
と私たちは自負しています。
自然と人と社会。
それぞれの調和を大切にしながら、
シンプルに生きる。
21世紀は、本質に還る時代です。



SHOWA

プレストレストコンクリート設計製作施工
コンクリート二次製品製造販売
昭和コンクリート工業株式会社
〒500-8703 岐阜市香蘭1丁目1番地
TEL.058-255-3333 FAX.058-255-3330
代表取締役 村瀬恒治

スグスイ住設

杉山 卓雄
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0524
揖斐郡大野町郡家127
☎0585-34-2487
事務所・ショールーム
揖斐郡大野町上磯67-1



Central Rose Nursery

セントラル・ローズ・ナーサリー
〒501-04 岐阜県本巣市七五三-一の坪7724
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
大西 隆 (昭和45年農卒) 裕 (平成7年工卒)



ヒナ・資材・鶏卵加工販売
株式会社 後藤孵卵場

岐阜市西野町7丁目北町13
TEL <058> 251-2231
FAX <058> 253-0812

ゴトウグループ
ゴトウテクニカル
グローバルチック
岐阜養鶏農協

年六月、日本政府招待のインド高校生訪日団二三名を本校に迎え入れました。発展著しいインドの勢いを感ぜさせる、意欲満々の優秀なインド高校生と直に接し、私達も大変勉強になりました。彼らの学ぶ姿勢は、かつて戦後の荒廃から高度成長を成し遂げた日本を彷彿させるものでした。資源のない我が国は教育が重要です。「がんばろう日本!」頑張るぞ岐阜!」をスローガンに生徒を育てたいと思います。

本校職員の異動

〈退職〉

鹿渡眞一郎(農業)
境井美保子(国語)
坂井 幸康(農業)
棚橋井差子(農業)
山口 桂(農業)
山川 昭雄(事務)

〈転入〉

堀 佳代子(英語)
長良高校

水野 泰孝(農業)
教育研修課長補佐

古閑 敬(農業)
加茂農林高校

今坂 博行(農業)
大垣養老高校

間世田 雄人(農業)
大垣養老高校

佐賀 達矢(農業)
大垣養老高校

細川 裕也(農業)
岐阜農林高校(新採)

川上 悦子(事務)
岐阜農林高校(新採)

〈転入〉

丹羽 俊文(教頭)
郡上高校教頭

辻 充世(国語)
本巣松陽高校

市橋 憲和(英語)
新規採用

岩塚 哲士(農業)
加茂農林高校

三輪 孝司(農業)
飛騨高山高校

栃木 麻垂沙(農業)
新規採用

堀部 仁貴(英語)
大竹 峰生(園芸)

長谷川 徹(園芸)
池戸 裕太(環境)

山田 航(森林)
神山 治彦(事務)

農業技術センター
古澤 和子(事務)

大垣東高校

ご勇退職員の挨拶

思 い 出

坂井 幸康
(昭和44年林卒)

昭和45年大阪万博の年に母校岐阜農林高校に赴任させて頂きました。1年間学校を離れていただけで、赴任した時は浦島太郎の心境でした。卒業時女子生徒が全校で10人ほどしかいなかったのが、1年で女子生徒が250人ほどになっていました。黒野分校が廃止され生活科が2クラス増設され1・2年で4クラス、分校の最後の家政科3年生2クラスが本校に統合され男子校のイメージが一変しました。当時は農芸化学科棟と廊下を夾んで寮が(現在の食品科学科の位置)あり変わった感じがしました。

宿直で泊まっていると、寮生が木造校舎の廊下を鳴らしながら動き回っているのがよく伝わってきました。その木造校舎も昭和47年頃からすべて新しく立て替えられ、昔の面影を無くしました。

林業科に席を置きましたので一番思い浮かぶのが演習林でのできごとで、当時は松田演習林(根尾)と法林寺演習林(本巣)がありました。その前は瀬沼に演習林があったそうす。昭和58年に学校所有の藤橋演習林が設置されました。松田演習林ではひとつまちがえば谷まで30メートル滑落する細い林道をトラックで登っていかねばなりません。トラックの荷台(座席付き)に生徒を乗せていき、対向車と出会うと、生徒を降ろしてから待避所まで怖々バックしていききました。松田演習林には宿舎がないのでテントで宿泊していました。夕方生徒と2人で下の部落から山越えで近道して帰る途中道に迷い暗い山中を2時間もさまよい、テントが見えたときは抱き合って喜びました。法林寺演習林では、町の生徒がへびを捕まえたとき自慢げに手で差し上げて血の気が引きました。幸い急所を押さえていたので、動揺しないようにペットボトルに捕獲してから、マムシ(毒蛇)だと教えたなら固まっていた。他にもスズメバチに刺されたり、枝打ちで落下、自転車を下りの坂道で転倒、谷に滑落などなど救急車や病院にも大変お世話になりました。でも山で皆なで食べた食事は最高でした。まだまだ思い出はつきませんが、演習林が自然のすばらしさと怖さを教えてくれました。

最後にこの私が大過なく退職を

迎えることができましたのも、諸先生方や多くの同窓生・生徒のみなさま方のおかげだと感謝しております。最後に皆様方の活躍とご健康をお祈り申し上げます。

ご転出職員の挨拶

間世田 雄人
(昭和58年農化卒)

平成15年より8年間勤務させて頂いた松田演習林が、この度大垣養老高校へ異動することとなりました。この間に農業クラブ全国大会や学校創立110周年記念行事に参加することができ、卒業生としてありがたく思っています。またこの3年間は、食品科学科の科長として学科運営に関わらせていただきました。食品科学科は5人のスタッフのうち3人が本校の卒業生であり、恵まれた環境で仕事をさせて頂きました。これからは外から学校を応援する立場になりますが、母校の益々の発展をお祈りいたします。

間世田 昭和58年3月卒
小野 平成22年3月卒
細川 平成18年3月卒



岐阜農林に支えられた
14年の勤務

水野 泰孝
(昭和61年農化卒)

私は、平成9年4月より14年間にわたり「母校」で勤務させて頂きました。母校での勤務が始まる日は、喜びや期待以上に極度の緊張があったのを思い出します。それは、新しい環境で勤務する不安からではなく、高校生時代にお世話になった恩師がたくさんみえる中で、少しでも成長した自分を見せ信頼を得られるかという不安でした。というのは、私が高校を卒業して間もなくある恩師を訪ねた時、「高校時代、おまえは本当に天狗で横着だった」といわれた言葉がずっと心に残っていたからです。

しかし勤務が始まるとそんな不安は一変し、自分らしさを十分発揮しながら生活を送ることができたと思っています。それは、恩師や同窓生の先生方にいつも声をかけていただけたからです。「頑張っているな」、「よかったぞ」と誉める。それはダメだ。こんな方法があるんじゃないか」と叱咤激励。何かあっても必ず手を差しのべ元気をいただけたことが、本当に心の支えとなり勇気の源や自信となりました。

岐阜農林を愛する素晴らしい先生方、よき後輩(生徒)たちに恵まれ、本当に充実した母校での勤務でした。心からお礼を申し上げます。

岐阜農林高校の益々の発展と、関係する方々のご健勝をお祈りいたします。

池田町と本校が
協定書に調印

去る二月二十五日(金)池田庁舎三階執行部控室に於いて、岡崎和夫池田町長と本校高畑清樹校長とのあいだで、「池田町・岐阜農林高等学校」連携・協力に関する協定書締結式が行われました。



本校は三年前から町の行事でもある「池田の森」植樹活動や町の教育委員会主催「池田中学校の間伐教室」に森林科学科が参加しています。また、池田の森の清掃活動、各種動物、昆虫、利用者の意識調査などをGFSC部が調査活動を行い、この成果をまとめて毎年報告書を提出しています。また、池田町の特産である「お茶」を使った製品化に食品科学科が研究活動に参加し、このほどお茶を原料に加えた「茶プリン」を試作をし、町長に試食をして頂きました。今後は製品化に向けて改良を加えて

七月に池田温泉横に開設される「道の駅」で販売する予定です。

このような本校の活動から、当日の調印式には森林科学科の生徒代表として二年生の成瀬衛君、食品科学科の生徒代表として二年生の土肥愛さん、GFSC部長(生物工学科)二年見屋井一輝君が参加して、それぞれの活動内容を堂々と報告しました。



この後池田町の十二名の町議会議員のなかで三名が本校の卒業生でもあることから、懇談会が催されました。遠藤和雄町議(昭和三十三年農業科卒・(株)遠藤造園)坂口博町議(昭和三十四年農業科卒・農業)松岡正彦町議(昭和三十五年農業科卒・松岡養鶏場)を交えて当時の高校時代を懐かしく懇談しました。また、この懇談会には町内で自営されている卒業生の今西隆介氏(昭和三十一年農業製造科卒・今西農園)西川峰和氏(昭和四十六年農業科卒・西川

バラ園)野原道男氏(昭和四十七年園芸科卒・トマト栽培)も参加されました。この後生徒達は西川さんのバラ栽培ハウスと野原さんのトマト栽培ハウスを見学しているところと説明を聞いて終わりました。

揖斐川支部活動報告
(その8)

平成23年度揖斐川支部
通常総会開催

平成23年3月6日(日)17時30分より、揖斐川町谷汲山門前立花屋旅館に於いて、会員92名の内33名の出席の下、開催出来ました。総会は、久保田支部長の挨拶に続き、議長に林孝之氏(40土卒)を選出し議事が進行されました。議案1 平成22年度事業報告についで

議案2 平成22年度収支決算(監査報告)について

議案3 平成23年度事業計画(案)について

議案4 平成23年度収支予算(案)について

いずれも出席者全員の賛同により原案通り承認されました。

総会は、凡そ30分程で終了し、懇親会会場へ移動しました。

◎支部同好会の一年の活動報告

★野菜
会員18名で、JAいび川和田講師の下、以下のように4回開催出来ました。

会員相互の親密度も増してきたのか、本音での会話が盛んになり、野菜作りに取り組むに当たって大変有意義な情報交換の場となってきました。

(第7回目) 2月27日 野菜の土作り対策と春夏作の準備について

(第8回目) 5月29日 青空教室(生育観察と病害虫防除対策について)

(第9回目) 8月28日 秋冬作に向けて種苗の選び方と肥培管理について

(第10回目) 11月27日 猛暑下での野菜作りの反省を踏まえ、翌年度対策について

★ゴルフ
会員18名で、年3回コンペ開催回数 実施日 天候

会場 参加人数 優勝者

第4回 4月19日 晴

谷汲CC 15名 窪田勝文

第5回 7月22日 酷暑
岐阜国際CC 13名 杉山正樹

第6回 10月22日 曇
大垣CC 13名 渡辺孝義

★ハイキング
基本方針 年2回開催

①4月17日 好天、関ヶ原合戦で西軍の毛利秀元の陣所となった垂井町南宮山(標高404m)の展望台まで登るコースで実施

参加者は10名(男8名・女2名)で、南宮大社へ参拝の後登山開始

歴史の一端にふれながら、新緑の自然の美しさを満喫した1日でした。

②10月24日 好天、アンコールに於いて、雨乞い伝説で名高い「夜叉ヶ池」登山を再度実施

参加者は13名(男11名・女2名)で、紅葉最盛期・多数の登山者が行き交い、道を譲りながらの登山

池の周りには、池に生息するヤシヤゲンゴロウ等の保護のため、新たに柵が設けられる等、生態系保護と池の保全に一層配慮されていることを改めて認識した1日でした。

★旅行
2月10～11日

(1泊2日近鉄バス会員募集)

世界遺産「安芸の宮島 原爆ドーム(広島)錦帯橋(岩国)ヘデラックスバス(トイレ付き)で7名が長距離旅行を堪能しました。

(記事 39化卒 岩間庄三)

同窓会だより

「県職若葉会」の近況について

岐阜県職員（一部岐阜県土地改良連合会職員を含む）が岐阜県農林高等学校の卒業生で組織している「若葉会」の平成22年度の定例総会が、平成23年1月28日（金）に名鉄岐阜駅近くのホテルの居酒屋で安田謙三県議会議長のご臨席を得て、新年宴会と送別会を兼ねて開催されました。

会長挨拶、安田議長挨拶の後、議事である「平成22年度会計決算報告及び平成23年度予算案」並びに「役員改選」の審議承認は無事終わり、新会長の就任挨拶も済んで、副会長の乾杯の音頭で宴会が始まり和やかなうちに終宴しました。

今回は、役員が藤井会長はじめ6名が今年度限りで退職に伴い退会してしまうので、事前に臨時の役員会を開催して、今年度中に役員

員の世代交代を行うための準備（原案作り）をし、総会で承認してもらいました。

若葉会も最盛期には、会員が600人以上もいて岐阜県庁の一大勢力でした。総会も岐山会館（現在のホテルグランヴェール岐山）や岐阜会館の大ホールで1000人以上の会員の参加や20人以上の来賓の出席があり、遠くの席がかすむ程でした。それが現在では会員も90人弱に激減してしまい、総会の出席者も14、5人たらずになっ

てしまいました。時代の趨勢でやむを得ないかもしれませんが、少し寂しい感じがします。

他の同窓の会や地域の会が次々と廃止されつつある中、規模は小さくなりましたが、若葉会の運営は新しい役員及び会員に脈々と受け継がれ、いつまでも存在することを期待する次第であります。

（文責 所 一二三
44年農芸化学卒）

近藤弘成さん

（平成元年園芸卒）

トマト栽培で

中日農業賞受賞



昭和19年卒
（18年12月繰り上げ）

昨年の同級会での申し合わせにより、3月11日、岐阜市内の割烹平八において同級会を開催した。先ず案内状の作成前に、いつもながら物故者の把握に苦労する。

日頃、地方新聞の「おくやみ」欄にのっている方、岐阜瑞穂（岐阜農林高等学校同窓会発刊）の会員の動向の計報欄で知る程度で、実際の物故者はかなり多いと思われる。幸い岐阜農林高等学校同窓会会員名簿が、この6月頃発行されるやに聞いているので、今後はその名簿の物故者欄で把握できると思われる。

さて、卒業以来67年。今回の同級会には何人出席して頂けるか、世話人としては一番気になること

である。ちなみに近年の出席状況は、平成17年が22名、21年が15名、昨年は11名と開催する度に少なくなっている。これも84歳の集いであれば当然かもしれないと思いが、2月12日に案内状を郵送した。1週間位の間に6割ほど回答があり、出席者11名欠席者3名で、心配していた出席人員も昨年と同数となり安堵した。以後は欠席者がほとんどで、結局12名の出席者で昨年より1名多い結果となった。欠席者のほとんどは体調を崩している方で、中には妻の介護のため欠席の人もあった。

同級会は昨年中に逝去された物故者への黙祷、続いて記念撮影、そして懇親会。お互いに盃を重ねながら、70年近い当時に思い出し部活（剣道・柔道・テニス等）での練習の厳しかったこと、昼休み運動場での応援歌の練習のため昼食もできなかったこと等を語り合う。

そして時間の経つのも忘れ、楽しいひとときを過ごし、盛況のうちに来年の再会を誓い合い散会した。（文責 高橋 清）

同窓会会員名簿発行

第33号 平成23年度版
予約者へは5月下旬発送
追加希望の方は（5000円）
フリーダイヤル
（0120-116-8556）へ

部活動報告



◎演劇部

春季全国高等学校演劇研究大会（北海道）に中部日本代表として出場

◎相撲部

インターハイ県予選
団体優勝

四連覇達成！



◎男子バレーボール部 【県新人大会】 一回戦 本校 0-2 多治見北	◎女子バレーボール部 【地区新人大会】 代表決定戦 本校 2-0 鷺谷 【県新人大会】 一回戦 本校 0-2 益田清風	◎硬式野球部 【春季高校野球岐阜地区大会】 トーナメント 本校 7-8 山県 敗者復活戦 本校 11-3 岐阜北 本校 10-7 各務原 本校 3-4 岐南工業	◎馬術部 【Japan open 第8戦】 120Jr障害飛越競技 決勝 6位 110Jr障害飛越競技 決勝 4位	◎男子ソフトテニス部 【東海高校選抜大会】 個人 松原・武中組 0-4 三重高校 【地区室内大会】 個人 松原・武中組 3位 【愛知県選抜大会】 団体 予選リーグ 本校 0-3 大同大附 本校 2-1 半田東	◎男子バスケットボール部 【県新人大会】 一回戦 本校 101-41 帝京可児 二回戦 本校 82-64 高山西 三回戦 本校 64-44 中津川工 決勝リーグ 本校 58-103 美濃加茂 本校 66-79 岐阜総合	◎女子ソフトテニス部 【愛知県高校女子研修大会】 団体 予選リーグ 本校 3-0 半田農業 本校 0-3 焼津 本校 1-2 星城 【愛知県選抜大会】 団体 予選リーグ 本校 1-2 清水西 本校 1-2 岡崎城西 本校 3-0 一宮南 3位リーグ 本校 2-1 津島 本校 2-0 滝 【東海ソフトテニス大会】 団体 予選 本校 2-1 名古屋商 本校 2-1 二俣 1位トーナメント 一回戦 本校 0-2 富士見	◎女子バスケットボール部 【県新人大会】 一回戦 本校 86-37 中津 二回戦 本校 56-53 加茂 三回戦 本校 57-80 中津川工 5位予備戦 本校 59-45 大垣商業 5位決定戦 本校 56-63 土岐商業 6位	◎剣道部 【県選抜大会県予選会】 男子団体 一回戦 本校 0-3 多治見 女子団体 一回戦 本校 0-3 可児	◎写真部 【羽島市美術展青年部】 入選(河口・高橋・森口・鷺見・清水・岡本・丹羽・工藤・羽賀・清水)	◎書道部 【羽島市美術展青年部】 優秀賞 3F 伊藤勇弥 秀作賞 3B 井川真帆 【本県美術展】 奨励賞 3F 伊藤勇弥 3B 井川真帆 (他入選 7名)
--	---	---	--	---	--	---	--	--	--	--

平成22年度 卒業生進路

	自 営			就 職												進 学								卒 業 者 数		
	農 業	そ の 他	自 営 計	農 業 協 作	食 品	農 業 機 械・ 資 材	木 材 製 品	建 設 ・ 測 量	化 学 ・ 薬 品	日 用 品	公 務 ・ 公 団	工 業 機 械	医 療 ・ 看 護	そ の 他	就 職 予 定	就 職 計	国 立 大 学	私 立 四 年 制 大 学	短 期 大 学	農 業 大 学 校	森 林 文 化 ア カ デ ミ ー	専 修 ・ 専 門 学 校	そ の 他 ・ 留 学 ・ 研 修		進 学 予 定	進 学 計
流通科学科			0		5								2	12		19	1	6	4	1		6			18	37
園芸科学科			0	3	1								3	5	4	16	2	3	7	2		9	1		24	40
動物科学科			0	4	5								4	4		17	3	9	5	1		4			22	39
森林科学科			0			1	3	1			1		1	11	1	19	2	7	1		3	7			20	39
環境科学科			0					4			3		1	4		12	2	16	2		1	5	2		28	40
食品科学科			0		6								3	3		12	1	8	5			11	1		26	38
生物工学科			0		4									2		6	2	16	4			9			31	37
合 計	0	0	0	7	21	1	3	5	0	0	4	0	14	41	5	101	13	65	28	4	4	51	4	0	169	270

母校の野鳥紹介 11

モズ

モズは漢字で百舌と書きます。

この由来はモズがほかの野鳥の囀りを真似ることからきています。春の繁殖が終わる夏になるとそれに避暑に出かけるように高原などに移動します。このときに他の鳥が囀っていると、その声を覚えるようです。秋になってまた自分の生活場所に戻ってきてオオヨシキリやウグイスなどの物まねをしているところを聞くことがあります。また、ハヤニエといって枝先や針金の先に昆虫やネズミ、スズメなどが刺さっているのを農場で目にする事ができます。これは動物食中心の生態のためですが、最近では除草剤の使用などで環境が変わったせいで餌不足か、モズの数が減ってきたように思えます。



母校の銘木紹介 11

ムクノキ

ニレ科 ムクノキ属

現在食品科学科棟の南東角に樹齢七十年余りのムクノキが茂っています。昔は食品科学科棟ではなく、木造二階建ての瑞穂寮があり多くの寮生が窓からこの木を眺めたり、実を取って食したりして親しまれていました。

関東以西・四国・九州の山地や川岸などにはえ、民家付近にも植えられる落葉高木で実は熟すと甘くムクドリが好んで食べに来る。葉は硬毛があり、蚕の糸を紡ぐ時に使用されたり、乾いた葉で細工物を磨ぐのに使用された。



編集余記

先の東日本大震災で被災された皆様にお悔やみを申し上げます。またお亡くなりになられた方々にはご冥福をお祈りします。私たちが

今年度の校内幹事一同、よろしくお願いします。



紹介

一人一人が決して私欲を優先するのではなく、身近に出来ることから行動に移したいものです。百十周年事業で大活躍した演劇部は、三月の北海道で行われた演劇大会でも活躍し、私たちに心温まる感動と勇気を与えてくれました。会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

この「瑞穂」の記事はホームページでも閲覧できます。

同窓会ホームページ <http://www.ginou-douso.org/>

同窓会だよりなどの投稿をよろしくをお願いします。

中衛工業株式会社

代表取締役
関谷 俊征

◎岐阜支店
岐阜市六条南3-6-9
tel.058-274-8881
fax.058-274-8860

◎本社
名古屋市中区鶴里町3-11
tel.052-811-8111
fax.052-811-8311

<http://www.chuei.com>

土木舗装一式請負

郡上舗道株式会社

代表取締役
高橋 勇
(昭和30年農卒)

本社
岐阜県郡上市大和町剣37の2
電話 <057588> 3163
<057588> 3330
郵便番号 501-4612
北方営業所
岐阜県本巣市三橋712-1
電話 <0581> 324-1818
324-7733
美濃加茂営業所
岐阜県美濃加茂市太田町字境松
電話 <05742> 5-8486

総合建設業
株式会社 松野組

代表取締役社長
松野 守男

本社
岐阜県瑞穂市穂積
☎ <0581> 327-3200(代)
岐阜営業所
岐阜市矢島町1丁目42番地
☎ <0581> 266-1386
山県営業所
岐阜県山県市西深瀬
☎ <0581> 22-2420
東濃営業所
岐阜県可児市広見
☎ <05746> 2-8811

来海水りの
東海ボリエテイルム
東海ボリエテイルム
東海ボリエテイルム

岐阜県羽島郡岐南町野中
☎ <0581> 246-1313
名古屋営業所
名古屋市中区西区的川町四丁目
☎ <052> 521-9296

社長
大野 繁俊
(昭和10年農卒)

(株)安藤コンクリート

代表取締役 安藤 正年(昭和十八年卒)

本社
岐阜県本巣市北方町北方2126番地
☎ <0581> 324-2121(代)
名古屋営業所
名古屋市中村区名駅四丁目25-17
☎ <052> 538-1761(代)
福井営業所
福井市花堂中1丁目8番26号
☎ <0776> 36-7523
豊橋出張所
豊橋市湊132
☎ <0532> 55-0760
小松出張所
石川県小松市上小松町内58-1
☎ <0761> 22-6345
大野工場
岐阜県岐阜市大野町五ノ里437番地
☎ <0585> 32-3111(代)

Union

建設コンサルタント

株式会社ユニオン

代表取締役
村橋 元
(昭和37年土卒)

〒501-0106
岐阜市西河渡2丁目57
電話 <0581> 253-3111

支店・営業所
名古屋・恵那・高山・郡上・大垣
中濃・各務原・羽島・下呂・掛川
福井